

令和5年10月5日
国土交通省関東地方整備局
関東技術事務所

第3回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介します～

令和5年10月25日（水）から令和5年10月26日（木）の2日間、第3回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、第16期建設技術展示館の展示技術テーマ「防災 減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」、「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つのテーマを中心に、出展者自らが発表するものです。

また、今回は関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された、大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して早期の社会実装、実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表や関東地方整備局の施策について講演します。

- 日時：【1日目】令和5年10月25日（水）13時00分から15時10分まで
【2日目】令和5年10月26日（木）10時00分から15時40分まで
- 会場：・関東技術事務所 建設技術展示館（千葉県松戸市五香西6-12-1）
・オンライン配信（Microsoft Teamsによる配信）
会場定員：各日80名、オンライン定員：各日220名
- 内容：出展技術発表 発表者：9者（詳細は別紙をご覧ください。）
「大学等研究機関とのマッチング」研究発表 2者
講演：10月26日（木）関東地方整備局 道路部道路管理課 道路構造保全官 児玉憲一
「道路構造物のメンテナンスに関する取り組み」

4. 応募方法

出展技術発表会は会場とオンラインのハイブリッドとし、CPD、CPDSの認定を受ける予定です。聴講の応募方法は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。

6. 取材について

取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
千葉県政記者会 松戸記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表）メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

副所長 金澤 哲也（内線：791-205）

技術企画 人材育成課 技術情報管理官 角田 哲章（内線：791-303）

第16期 建設技術展示館

第3回

出展技術発表会

参加無料

「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」
「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」
3つのテーマを中心に、出展技術の発表をおこないます

関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して技術研究開発を促進し、早期の社会実装・実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表も行います。

CPD/CPDS 認定

1日目: CPD 2.0単位 CPDS 2.0 unit

2日目: CPD 4.0単位 CPDS 4.0 unit

会場とオンラインのハイブリッド開催

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要です。

会場・定員

関東技術事務所 建設技術展示館
(千葉県松戸市五香西6-12-1) 各日80名
オンライン配信(Microsoft Teamsによる配信)
各日220名

申込期限

令和5年10月20日(金)

12:00 まで
定員になり次第締切

申込方法

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得
単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの申込
フォームより事前登録をお願いします。
詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

CPDSの単位取得については会場での聴講者のみとさせていただきます。ご容赦ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応しかねます。

聴講者による録画・撮影等は一切禁止
(オンライン聴講時と同様)

TIME SCHEDULE

1日目: 令和5年10月25日(水)
13:00~15:10 (受付12:15~)

2日目: 令和5年10月26日(木)
10:00~15:40 (受付9:15~)

講演

関東地方整備局 道路部 道路管理課
道路構造保全官 児玉憲一
「道路構造物のメンテナンスに関する取り組み」

【主催】   国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所
DX・i-Construction

【賛助】  一般社団法人 関東地域づくり協会
Kanto Regional Management Service Association

建設技術展示館ホームページ
<https://www.kense-te.jp/>



TIME SCHEDULE

A技術:「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

B技術:「インフラ分野のDX技術」

C技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

日程	順番	時間	技術No.	出展者/発表者	技術名・講演名
第3回	発表	13:00~13:30	研究発表	東京大学大学院 工学系研究科 全 邦釘 特任准教授	「導水路トンネル維持管理のための損傷自動検出手法についての技術研究開発」
10月25日(水) 【建設技術展示館】& 【オンライン配信】	1	13:30~14:00	A 16	株式会社ヒロコーポレーション	タイル・石材を落とさない「ヒロ結合工法」
	2	14:10~14:40	B 12	株式会社トプコンソキアポジションジャパン	「現場の見える化を実現するSitelink3D ~リアルタイムマネジメントシステム~」
	3	14:40~15:10	A 17	株式会社大林組	交通ネットワークを支える橋梁リニューアル技術 床版取替工法・床版補強材料
10月26日(木)	発表	10:00~10:30	研究発表	埼玉大学大学院 理工学研究科 党 紀 准教授	「人間と AI 協働型画像損傷セグメンテーションの開発」
【建設技術展示館】& 【オンライン配信】	4	10:30~11:00	B 13	大日本土木株式会社	現場ですぐに使える生産性向上ICT 新技術
	5	11:00~11:30	A 18	株式会社クリテック工業	橋梁の長寿命化に貢献する伸縮装置「ハイブリッドジョイント」
	講	13:00~13:30	講演	関東地方整備局 道路部 道路管理課 道路構造保全官 児玉憲一	「道路構造物のメンテナンスに関する取り組み」
	6	13:30~14:00	C 04	旭コンクリート工業株式会社	国土強靱化に寄与するプレキャストコンクリート技術「TB(タッチボンド)工法/新ボックス型アグア/ECO-C-L(エコ・クリーンリフト)工法」
	7	14:10~14:40	B 14	ライト工業株式会社	ICTを取込んだ法面施工から出来形管理「ICT法面技術」
	8	14:40~15:10	A 19	一般社団法人日本建設保全協会	道路橋を補修・補強する工法「スーパーホゼン式工法」他
	9	15:10~15:40	B 15	株式会社竹中土木	狭隘地に対応した液状化対策工法「スマートコラム工法」

- 建設技術展示館は16:00まで開館しておりますので、終了後はぜひご見学いただけますようお願いいたします。
- 構内に駐車場(無料)はございますが、極力公共交通機関でのご来場をお願いします。



【交通】JR武蔵野線新八柱駅または新京成電鉄「建設技術展示館」下車徒歩2分

①東京 JR京葉線快速(武蔵野線直通) 新八柱

②東京 JR山手線/上野 JR常磐線 松戸 新京成線 八柱

バス 建設技術展示館

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1 国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館事務局

[TEL] 047-394-6471 [HP] https://www.kense-te.jp/

発表技術の展示ブースはQRコードからCHECK

